

『消防団』の現状や必要性、 消防団員が感じる魅力や思いを聞きました

団員の減少、高齢化が問題となっています

以前は町内に商店なども多く、店主や従業員が入団していました。団員も250人位だったように覚えています。

現在、消防団は団員減少と団員の高齢化が問題となっています。平均年齢が40代、50代といった分団もあります。

さらに、団員のほとんどが町外で働いていることが多いため、昼間の火災に消防車を出動させることができるかできないかという状態です。

団員の確保、それも若い人に入団していただき、消防団の力を上げたいと強く願います。

『地域を守る』ことを本気で考えてほしい

若い人には『地域を守る』ということを考えてほしいと思います。若い力に期待しています。

いざ消防団に入団すると、訓練や操法大会など家族の協力なしでは活動できません。家族や地域の支えで、消防団

は活動できています。

また、今後は少年消防隊など、育成にも力を入れてみたいと考えます。県内でも女性消防隊の活躍も盛んになってきていますので、男性、女性問わず、『地域を守る』ために入団をお願いします。



日野町消防団 団長
藤原洋一さん

地元に残っているからこそ 地域を守らないといけない

消防団の交流会に誘われたことがきっかけで入団しました。和気あいの雰囲気が好きです。

私は地元に残っているから地域を守らないといけない気持ちを持っています。若い人たちにも自分たちの町を守る気持ちを持ってほしいです。そして消防団に入団してほしいと思います。

今は、若い人たちとの接点がなく、顔見知りになれないのが現状です。消防団の活動を知ってほしいと思います。



第2分団 団員
上妻裕二さん

地域の中で、つながり づくりができる

私は家族が消防団員で、小さいころからかわりがあったので抵抗なく入団できました。

入団してみると、幅広い年代、さまざまな職種の方とつながりができました。所属している第1分団は和気あいの雰囲気の中、なんでも話し合える関係で楽しく活動しています。

消防団は、地域の中での付き合い方など勉強できる場なので若い人やこれから定住した方も、ぜひ入団してほしいと思います。



第1分団 団員
藤原康洋さん

消防団に親しみが持て、 地域を守る力を育てたい

私は家族が消防団員だったので、自然と入団しました。使命感で14年間続けています。

消防団は地域に欠かせないものだと思います。いざ、火事が起こると早い消火が必要になります。知識がないと何もできません。日ごろの訓練が現場では自信となっています。

今後は消火訓練など子どもたちが消防団に親しむ機会を作り、地域を守る「未来の消防団員」育成に取り組みたいです。



第1分団 団員
佐野精彦さん



鳥取県西部広域行政管理組合消防局
江府消防署 署長
田中好徳さん

消防団は『頼りになるパートナー』です

江府消防署が所管する日野郡の面積は、西部圏域の約半分と広範囲です。災害時の初動体制において、地元消防団の役割は大きく、『連携』が非常に大切と考えます。

そのためには、日ごろから顔の見える関係づくりに取り組む必要があります。現在、操法大会に向けた指導や大会

での審査員、救助資機材の実地訓練などを通じ、関係づくりに努めているところです。

これまで培ってきたお互いの信頼関係を今後も大切にしていきたいです。消防団は消防署の私たちにとっても、町の皆さんにとっても心強い存在です。

誇りを持って活動を。今後も期待しています

消防団員の皆さんは、いろいろな職種の方が集まり、重機など多くの技術を持っておられ頼もしい存在です。その技術は火災のみならず、水災害など多くの場面で生かされています。

今、消防団は団員の確保が大変ですが、誇りを持って活動していただきたいです。

また、最近は女性消防隊の活動も活発です。防火啓発や救急講習など、今後の活動に期待しています。

地域を守る思いが芽生えた消防団活動

私は役場職員として消防団に入りましたが、今は訓練や火事現場などを経験し、一人の消防団員として「地域を守りたい」と感じるようになりました。

訓練は少しずつ実になっていると感じますが、現場では訓練通りにはいきません。まだまだ役に立っている実感は感じません。

これからも、ほかの分団の皆さんの動きを見習いながら、一緒に頑張っていきたいと思います。

第3分団 団員
伊田達彦さん



「町民の生命・財産を守る」活動に誇りをもっています

第3分団は平成12年、町消防団が団員減少により昼間の活動を強化するために発足しました。どこの町も人口減少という問題を抱え、役場がその一役を担うことは時代の流れと感じています。

振り返ると、職員で一つの目標に向かって訓練などを行うことで、コミュニケーションが図れたと思います。

私はこの町が好きです。町民の生命・財産を守るという誇りを持っています。

第3分団 班長
景山政之さん



地域の皆さんに安心してもらいたい

私は近所に団員の方がおられたり、多くの方に声をかけてもらったので入団しました。年齢層が幅広く、和気あいあいの雰囲気の中、地域でのつながりが深まったように振り返ります。

実際に火事や災害に出動してみても、地域を守る気持ちが強くなりました。周りに消防団員がいて、地域でつながりが深まったように振り返ります。

地域を守るため、若い人に入団してほしいと思います。

第2分団 団員
原 尊之さん

